

2月15日 涅槃会

お釈迦さまは80歳になっても、大勢のお弟子たちとともに、教えを伝える旅を続けました。ところがある日、体調を崩してしまいます。

それでもお釈迦さまは、クシナガラという地へと向かい、途中、沙羅の樹の林で横になりました。

「私が亡くなっても、私の教えがなくなるわけではありません。私の教えを守って、毎日を大切に生きてください」

そう語り続けていましたが、ついに静かに目を閉じて、お亡くなりになりました。

お釈迦さまの周りには、お弟子たちや、お釈迦さまの教えを聞いた人たち、さらには動物たちが続々と集まり、

「お釈迦さま、ありがとうございました」
「静かにお休みください」と、涙を流しました。

「涅槃」とは
心と体の苦しみが

なくなった状態(滅)を意味します。

お釈迦さまがこの世での命を終えて、「涅槃」に入られたことを入滅とも言います。

ありし日のお釈迦さまを偲び、心を込めて手を合わせましょう。



② でもだいじょうぶです

おしゃかさまは わたしたちが わらっているときも
さみしいときも いつもみまもってくれています

ぬりえ

2月15日は

ねはんえ

① たくさんの たいせつなことを
おしえてくれた おしゃかさまと
おわかれのときが
きてしまいました
たくさんのひとたち
どうぶつたちは
おわかれが かなしくて
なみだを ながしています

③ わたしたちを

みまもってくれている

おしゃかさまに

あかく ただしく

なかよくすごす

おやくそくを しましょう

